谷本

学校だより

令和8年10月号

やってみよう自分から　もっと生かそう学んだことを　ともに生きよう感謝の心で

横浜市立谷本小学校

実りの秋に

副校長　二瓶亜希子

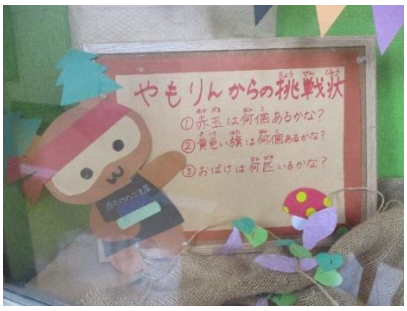


５年生が育てた稲

９月は雨の日が多く、澄み渡る青空を目にする機会が少ない一か月でしたが、穀物や果物などの収穫が多い実りの秋となりそうです。学校の敷地内を歩いていると、５年生の育ててきた稲の穂が黄金色に輝き、実るほどに頭を垂れている様子が目に留まります。子どもたちが自らの手で育ててきたこの稲は、きっと収穫という喜びだけでなく、他の多くの実りも子どもたちの心にもたらしていくことと思います。

秋は「読書の秋」とも言われます。本とは、言葉によって紡がれた一つの世界です。一冊の本が、私たちを不思議な世界へ誘ってくれることもあれば、自分でも気付かなかった心の奥の思いに出会わせてくれることもあります。たけのこ文庫の皆様による読み聞かせでは、谷本の子どもたちはたくさんの世界に浸れる機会をいただいています。この読み聞かせにより蒔いていただいている種は、毎年、確実に芽を出し、子どもたちの心を豊かに耕してくれます。また、学校図書館も子どもたちの学びと心の成長を支える大切な場所です。そしてこの学校図書館の壁面やショーケースの素敵なディスプレイもまた、たけのこ文庫の皆様のお力によるものです。季節によって、さまざまな顔を見せてくれるこのディスプレイについて図書館を訪れる子どもたちが、「いつ変えるの？」と楽しみにしていた様子を学校司書の島田先生から聞いています。現在ショーケースは、秋にちなんだ本の紹介と飾りが美しく施されています。どんぐり、ハロウィン、運動会。なんて素敵なディスプレイ！







「やもりん隊からの挑戦状」のクイズの回答用紙を置いたところ、子どもたちが殺到していたそうです。右端の画像の装飾は、運動会が終わったら、一部分だけ変化するとのこと。果たして子どもたちは気付くのでしょうか。私も何がどう変わるのか楽しみにしています。

最後に「スポーツの秋」。運動会が近づき、子どもたちは徒競走や団体競技、演技の練習に一生懸命に取り組んでいます。運動会の価値は、当日の結果や勝敗だけにあるわけではありません。うまくできなかったことができるようになること、仲間と力を合わせて一つの演技や競技をつくりあげること、自分の役割に責任をもって取り組むこと、そして互いに励まし合い、認め合うこと。その過程で培われる力こそが、子どもたちの大きな「実り」であると考えています。運動会当日は保護者の皆様に、子どもたちが積み重ねた努力や仲間との協力の姿に目を向けていただければ幸いです。保護者・地域の皆様の温かいご支援のもと、この秋も子どもたちが多くの実りを得ながら、自信をもって成長していけるよう、教職員一同力を合わせて支えてまいります。